

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年8月21日

【評価実施概要】

事業所番号	0170501639		
法人名	有限会社 ケア・ハート		
事業所名	グループホーム あかしあ		
所在地	北海道札幌市豊平区中の島2条7丁目3-15 ル・パルク中の島3階 (電 話) 011-816-8338		
評価機関名	タンジエント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成20年8月20日	評価確定日	平成20年8月25日

【情報提供票より】(平成20年7月29日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和 平成 14年 7月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 16人, 非常勤 1人, 常勤換算	13.9人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り
	5 階建ての 3 ~ 4 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	20,000~30,000 円
敷 金	(有)(35,000 円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食 300 円	昼食 400 円	
	夕食 500 円	おやつ 100 円	
	または1日当たり 1,300 円		

(4) 利用者の概要(7月29日現在)

利用者人数	18 名	男性 3 名	女性 15 名
要介護1	6 名	要介護2	8 名
要介護3	3 名	要介護4	
要介護5	1 名	要支援2	
年齢	平均 77.5 歳	最低 57 歳	最高 92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	旭町医院・きよみず公園クリニック 羊が丘病院・日之出歯科真駒内診療所
---------	---------------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

鉄筋コンクリート造りの5階建ての寮を改装し、3階、5階に開設されたグループホームです。周辺には、地下鉄駅や遊歩道のある公園、白石藻岩通の幹線やマンション、住宅街が広がり環境と立地条件に恵まれています。管理者・職員は、利用者が「普通にお家で生活しているように喜怒哀楽が表現できるような生活」の支援を心掛け、職員のチームワークを大切にケアサービスの質の向上に取り組んでいる姿が伺えました。また、本人の思いや意向、気分転換のために日常的な外出の支援が行われ、散歩や買物、月寒公園での花見、家族会にも参加を呼びかけた外食や円山動物園見学、野外でのバーベキューなどの取り組みも行われています。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、救急救命の対応について改善点としてあげられていましたが、緊急時に全ての職員が速やかに対応できるように救急救命訓練や火災避難訓練が消防署の協力を得て実施され、退避時間も把握されています。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 以前より、グループホーム独自の自己評価チェックシートを利用して、改善点を自ら見出しケアサービスの質の向上に利用されています。また、自己評価及び外部評価の結果についても改善の機会として取り組まれています。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議は、本年度 評価日現在1回実施されています。議題は ①本年度行事と運営推進会議の予定について ②夜勤時の避難訓練について ③健康診断について ④救命救急講習について ⑤サービス評価について
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族会や運営推進会議でホーム主催の行事の案内や苦情等を含めた意見交換が行われ、そこで話し合われた内容が運営に反映されるように取り組まれています。また、「あかしあ便り」を毎月発行して、日常の暮らしぶりや行事参加の様子など報告されています。家族会も年2回開催されて、職員と家族、利用者の相互理解の取り組みも行われています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 散歩や買物、手芸や絵手紙のボランティア・中学生の体験学習の受け入れ、ミニコンサートの実施など地域の人達との交流が行われています。また、「あかしあ便り」を町内会に回覧して広報したり、町内会に加入して地域の行事に参加するなど日常生活を通じて地域との連携に取り組まれています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅰ. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「ゆったり 笑顔で その人らしく」を基本理念とするホーム独自の理念とケア理念をつくりあげ職員間で共有されている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、基本理念及びケア理念の実践に向けて引継ぎ時やカンファレンスに於いて話し合う機会を設けて日々取り組んでいる。	○	今後は、基本理念及びケア理念のさらなる実践に向けて継続的な取り組みに期待します。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	散歩や買物、手芸や絵手紙のボランティア・中学生の体験学習の受け入れ、ミニコンサートの実施など地域の人達との交流が行われている。また、「あかしあ便り」を町内会に回覧して広報したり、町内会に加入して地域の行事に参加するなど日常生活を通じて地域との連携に取り組まれている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	以前より、グループホーム独自の自己評価チェックシートを利用して、改善点を自ら見出しケアサービスの質の向上に利用されています。また、自己評価及び外部評価の結果についても改善の機会として取り組まれています。	○	特筆すべき点として、ホーム独自の自己評価チェックシートを作り、ケアサービスの向上に利用されている。今後も是非、継続されていくことを期待します。

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、本年度 評価日現在1回開催されている。委員は家族、町内会役員、包括支援センター職員、法人役員及び管理者・職員で構成され、サービス評価の目的など具体的に取組んでいる。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	札幌市や豊平区主催の会議や研修会参加を通じてともにサービスの質の向上に取り組む姿が伺える。また、事業所及び管理者は、行政との連携の重要性については理解しているので、更なる連携に期待します。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	「あかしあ便り」を毎月発行して、日常の暮らしぶりや行事参加の様子など報告されていると共に状態変化については都度電話連絡などで詳細に報告している。また、家族会も年2回開催されて、職員と家族、利用者の相互理解の取り組みも行われている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会や運営推進会議でホーム主催の行事の案内や苦情等を含めた意見交換が行われ、そこで話し合われた内容が運営に反映されるように取り組まれている。	○	今後は、家族の高齢化などの難しい面もありますが、家族会への参加者が少しずつ増えていくような取り組みに期待しております。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職や異動は低く、利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の段階に応じて、グループホーム連絡協議会などの外部研修参加や資格取得などを積極的に奨励している。また、参加者の報告会で職員間の共有が図られている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同一法人内の他ホームとの交流やグループホーム連絡協議会での他施設との交流が行われている。また、市や区、包括支援センター主催の研修会参加で意見交換が行われている。	○	今後は、同一区内での同業者との交流を促進していくことが検討されている。
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、入居前には、利用者・家族の見学などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、利用者と一緒に料理や食事の準備をしたり、編み物、歌などしながら喜怒哀楽を共にし、支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	散歩や買い物、ラーメンや寿司などの外食に出かけたり、食事の準備や編み物など本人の希望や意向を尊重した取り組みがされている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画は作成され利用者、家族の希望や医師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的なものとなっている。また、センター方式が職員に浸透している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は、毎月カンファレンスで見直しが実施されている。また、状態変化に応じて都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。記録と介護計画の目標が連動するように取り組まれている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況、その時々要望に応じて通院や往診の支援、床屋や美容院の出張サービス利用、散歩や外食など柔軟な支援が行われている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	利用者を良く知る看護職員の配置や主治医との連携で日常の健康管理や医療活用の支援をしている。また、医師、歯科医師の往診など支援されている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、協力医療機関と連携して、利用者・家族とも段階的に話し合いながら慎重に対応するよう職員間で共有されている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重した声かけや見守りが行われている。また、記録等の個人情報の扱いについては、個人情報保護法に対応した配慮がされた取り組みが行われている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの希望や思いを尊重して、散歩や買い物、縫い物や歌などの趣味への支援や食事の準備や調理など本人の希望やペースに沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、職員と利用者が本人の希望や力量に応じて一緒になって楽しんで調理や食事の準備をしている。また、野外でのバーベキューや出張の握り寿司なども行われている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2～3回を目安に、利用者の希望やタイミングに応じて対応している。また、入浴拒否の利用者にも対応されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かしながら、裁縫、調理や食事の準備、寿司などの外食や野外でのバーベキューなど気分転換のための機会も多くつくられている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買物、円山動物園見学や月寒公園での花見、ラーメンや寿司などの外食や野外でのバーベキューなど気分転換ができるように支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室や玄関は、施錠はしていない。また、エレベーターも自由に利用できるようになっている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけしている	災害時や緊急時に速やかに対応ができるように、火災避難訓練や救急救命訓練が実施されている。また、退避時間の把握も行われている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	具体的な水分・食事摂取量が把握されている。また、栄養バランスやカロリーについても常勤する栄養士が把握している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、空気のよどみは感じられない。居間は、少し狭いが利用者が利用しやすいように工夫されている。また、窓からは山々が望め季節感が感じられるようになっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、本人や家族と相談しながら仏壇や使い慣れた家具などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。また、一人ひとりの思いが伝わる空間作りとなっている。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。